

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立米子白鳳高等学校

学校長 椿 幾雄

評 価 日	令和 5 年 7 月 2 1 日 (金)	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 目標設定について ・地元の淀江の良さや鳥取県西部地区でどのような活動が行われているかなど、ふるさとキャリア教育を絡めて、社会の成り立ちを学んでほしい。 ・中学生時代はコミュニケーションを取ることが苦手だった生徒が、卒業後に色々な話をするできるようになった姿を見て、高校で大切に育ててもらったと感じる。また、社会生活を自立して送っている姿を見ると、高校卒業時の成長が感じられる。 2 評価項目と目標達成のための取組について ・中学校と連携し、切れ目のない支援が必要であり、継続してほしい。少しずつ成果が見え始めていると思う。 ・郷土芸能部を設立時から指導しているが、表情が出て、今は目線の合う生徒が増えている。 ・和傘作りの指導を長年している。徐々に真剣に作業に取り組むようになり、最初と最後では目の輝きが違い、10ヶ月後の授業の最後には良かったと言っていた。 3 具体目標について ・地域を通じて体験的活動を進め、自分の居場所を作り、地域の一員となり、自尊感情を育てていることがわかった。 4 目標達成のための具体方策について ・こども園と高校との交流は、子どもたちにとってとてもよい刺激となっており、楽しみにしている。子どもたちが成長した時に地域の中で繋がってほしい。 5 その他 ・地元の良さを教え、将来、誇れるようにしたい。高校の地域資源の活用方法を中学校でも参考にしたい。保育・地域の連携(保育実習・彼岸花植栽など)のほかに、小中高の連携はどうか。		・生徒の卒業後を見据えて、社会に出てから役立つスキルを身に付けられるような事業を推進していく。 ・生徒が安心して学校生活が送れるように、生徒ひとりひとりの課題に応じたきめ細かい指導に努めていきたい。 ・地域の方々との体験活動をとおして、自分に自信が持てた生徒も多く、できる限り体験活動を取り入れた教育活動を推進していく。 ・多様性、価値観のずれが保護者と学校側とに生じてきていると感じており、学校と家庭との協働も必要だと感じる。 ・地域への学校参画を目指し、体験活動をできる限り取り入れて、教育活動を推進していきたい。 ・委員の方に、何でもできることがあれば協力したいと言ってもらえ、心強く感じた。